

「区立小・中学校の適正化第一次整備計画」の概要

1. 適正配置推進の基本的考え方

(1) 「個性と社会性の両者の調和のとれた子どもの育成を図るには、それにふさわしい規模の集団を確保することが望ましい」との審議会答申の主旨を尊重し、その実現に向け取り組んでいくことを基本姿勢とする。

また、適正配置の実施にあたっては、児童・生徒数の推移、教育環境、社会・経済状況の変化を見ながら、答申内容の見直し、修正も含め、緊急性の高い学校から順次、取り組んでいくこととする。

(2) 計画の策定にあたっては、本区小・中学校校舎の鉄筋化の実施から相当の年月が経過していることから、老朽校舎の改築時期との整合性を検討するとともに、これからの教育方法・内容に対応した施設整備を図るなど、将来を展望した学校施設整備に配慮する。

(3) 現下の厳しい財政状況を踏まえ、既存施設の活用も視野に入れて取り組んでいく。具体的には、建築年度や老朽度、耐震診断の結果などを総合的に検討し、個別に判断していくこととする。

2. 「第一次整備計画」の考え方

(1) 計画の目的

本計画は、審議会答申で提言されたものを、小規模化が著しい学校から順次統合を実施するものであり、「老朽校舎の改築」と「既存施設の活用」という二つの視点も加味して、平成9年度を初年度とする10カ年のなかで、答申の内容の具体化を図るため、その実施時期と具体的方法を明らかにするものである。

なお、本計画は、今後の児童・生徒数の推移、動向を見守りながら、概ね5年後に見直すこととし、本計画に取り込まれなかった他の学校の適正配置についても、併せて検討していくこととする。

(2) 計画策定にあたっての考え方

① 「教育人口等推計」（平成8年度東京都教育庁）により、5年後の平成13年度には、特に小規模になると予測される学校を優先して統合し、学校規模の確保を図る。

② 統合の順位は、児童・生徒数の推移、推計、中学校の跡地に新小学校を設置するなど統合の手順、校舎の老朽化による改築の必要性などを考慮し、総合的に判断した。

③ 統合の時期については、児童・生徒数の推移などを見ながら、早めていくことも検討する。

④ 統合による学校施設は、校舎の老朽化等により新築で対応する場合と、既存の校舎、体育館など既存施設の一部または全部を活用するという二つの方法により対応することとする。

⑤ 統合による新しい学校の校名、校章、校歌等は、それぞれの学校の歴史、伝統や地域社会において果たしてきた役割などを考慮し、慎重に検討していかなければならない。

そのためには、PTA、教職員、地域住民の代表者など統合対象校の関係者による検討組織を設け、各関係者の合意のもとに校名等が決定されていくよう進めていくこととする。

(3)計画の骨子

①高田中学校と雑司谷中学校の統合

- ・ 高田中学校と雑司谷中学校の2中学校を平成11年4月に統合し、現雑司谷中学校通学区域の一部を西巣鴨中学校の通学区域に変更する。

なお、通学区域の変更は、高田小、雑司谷小、日出小の3小学校の統合及び通学区域の変更に合わせて、平成13年4月から実施する。

- ・ 新中学校は、高田中学校の現校舎の老朽化が著しいため、現高田中学校跡地に新校舎を建設し、設置する。新校舎竣工まで、現雑司谷中学校校舎を仮校舎として使用する。

②高田小学校、雑司谷小学校、日出小学校の統合

- ・ 高田小学校、雑司谷小学校、日出小学校の3小学校を平成13年4月に統合し、同時に、現日出小学校通学区域の一部を時習小学校、大塚台小学校の通学区域に変更する。

- ・ 新小学校は、現雑司谷中学校跡に新校舎を建設し、設置する。新校舎竣工まで、現3小学校校舎を仮校舎として使用する。

③要町小学校と平和小学校の統合

- ・ 要町小学校と平和小学校の2小学校を平成12年4月に統合する。

- ・ 新小学校は、現要町小学校跡に既存校舎を使用して、設置する。

④大塚中学校と朝日中学校の統合

- ・ 大塚中学校と朝日中学校の2中学校を平成13年4月に統合する。

- ・ 新中学校は、現大塚中学校跡に既存校舎を使用して、設置する。

⑤千川小学校と大成小学校の統合

- ・ 千川小学校と大成小学校の2小学校を平成14年4月に統合し、同時に、現千川小学校通学区域の一部を高松小学校の通学区域に変更する。

- ・ 新小学校は、現大成小学校跡に既存校舎を使用して、設置する。

- ・ 小学校の通学区域の変更に合わせて、平成14年4月から第十中学校通学区域の一部を千川中学校の通学区域に変更する。

⑥時習小学校と大塚台小学校の統合

- ・ 時習小学校と大塚台小学校の2小学校を平成15年4月に統合し、同時に、現時習小学校通学区域の一部を池袋第一小学校の通学区域に変更する。

- ・ 新小学校は、現大塚台小学校跡に既存校舎を使用して、設置する。

- ・ 小学校の通学区域の変更に合わせて、平成15年4月から西巣鴨中学校通学区域の一部を池袋中学校の通学区域に変更する。

⑦大明小学校と池袋第五小学校の統合

- ・ 大明小学校と池袋第五小学校の2小学校を平成17年4月に統合する。

- ・ 新小学校は、現池袋第五小学校跡に既存校舎を使用して、設置する。

⑧第十中学校と千早中学校の統合

- ・ 第十中学校と千早中学校の2中学校を平成18年4月に統合する。

- ・ 新中学校は、第十中学校校地が拡張されたため、現第十中学校跡に既存校舎を使用して、設置する。

3. 「第一次整備計画」のスケジュール

本計画の実施にあたっては、児童・生徒・保護者や卒業生を始めとして、地域の方々の理解と協力を得ながら進めていくことが不可欠であり、住民説明会から学校統合までのスケジュールを示すと次のとおりとなる。

「第一次整備計画」のスケジュール

対象校名	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
高田中				校舎等建設 工事		新校舎				
※ 雑司谷中	説明会	◎統合		(仮校舎)						
高田小										
雑司谷小	説明会				◎統合					
日出小										
平和小										
○ 要町小	説明会 耐震設計			◎統合 補強・改修工事		新校舎 開校				
朝日中										
○ 大塚中		説明会 耐震設計		◎統合 補強・改修工事		新校舎 開校				
千川小										
○ 大成小			説明会 耐震設計		◎統合 補強・改修工事		新校舎 開校			
時習小										
○ 大塚台小		耐震設計		説明会		改修工事		◎統合 新校舎 開校		
大明小										
○ 池袋 第五小					説明会 耐震設計		補強・改修工事		◎統合 新校舎 開校	
千早中										
○ 第十中							説明会 耐震設計		◎統合 補強・改修工事	新校舎 開校

※ ○は、既存校舎を活用して統合新校となる学校

「審議会答申」と「本計画」との内容の比較

1 「千川小学校と大成小学校の統合」の場合

(1) 新小学校の位置について

□答 申

第十中学校と千早中学校を統合し、第十中学校跡に設置する。

■本 計 画

大成小学校に設置する。

(2) 通学区域の変更について

□答 申

① 千川小学校の通学区域の一部（千川一丁目19番～27番、千川二丁目 5番～10番、29～36番）を高松小学校に変更する。

② 大成小学校の通学区域の一部（南長崎六丁目全域）を椎名町小学校の通学区域に変更する。

■本 計 画

① 答申どおり変更する。

② 通学区域を変更しない。

2 「第十中学校と千早中学校の統合」の場合

新中学校の位置について

□答 申

千早中学校に設置する。

■本 計 画

第十中学校に設置する。

学校別児童・生徒数、学級数の推移、推計

(資料 2)

小学校	昭和33年 (ピーク時)		平成 8 年					平成 13年推計				
	児童	学級	児童	学級	1学年 平均	指数(s33=100)		児童	学級	1学年 平均	指数(s33=100)	
						児童	学級				児童	学級
仰高	735	15	291	11	48.5	39.6	73.3	255	9	42.5	34.7	60.0
駒込	1,597	30	487	16	81.2	30.5	53.3	397	12	66.2	24.9	40.0
巣鴨	1,014	21	245	9	40.8	24.2	42.9	195	6	32.5	19.2	28.6
清和	914	19	281	11	46.8	30.7	57.9	258	10	43.0	28.2	52.6
時習	1,468	28	192	7	32.0	13.1	25.0	137	6	22.8	9.3	21.4
西巣鴨	1,128	21	276	10	46.0	24.5	47.6	206	7	34.3	18.3	33.3
豊成	961	19	321	11	53.5	33.4	57.9	234	9	39.0	24.3	47.4
大塚台	1,270	25	282	11	47.0	22.2	44.0	293	12	48.8	23.1	48.0
朝日	1,144	21	247	9	41.2	21.6	42.9	230	8	38.3	20.1	38.1
池袋第一	1,482	28	324	12	54.0	21.9	42.9	334	12	55.7	22.5	42.9
池袋第二	1,289	25	276	10	46.0	21.4	40.0	247	9	41.2	19.2	36.0
池袋第三	1,381	27	378	13	63.0	27.4	48.1	359	12	59.8	26.0	44.4
大明	1,058	21	226	7	37.7	21.4	33.3	197	6	32.8	18.6	28.6
池袋第五	1,596	30	314	11	52.3	19.7	36.7	234	9	39.0	14.7	30.0
文成	1,019	21	416	13	69.3	40.8	61.9	407	12	67.8	39.9	57.1
高田	760	17	208	8	34.7	27.4	47.1	177	6	29.5	23.3	35.3
雑司谷	697	15	149	6	24.8	21.4	40.0	119	6	19.8	17.1	40.0
高南	1,047	21	290	11	48.3	27.7	52.4	238	8	39.7	22.7	38.1
日出	894	19	134	6	22.3	15.0	31.6	87	6	14.5	9.7	31.6
目白	1,830	33	348	12	58.0	19.0	36.4	294	11	49.0	16.1	33.3
長崎	1,266	25	272	10	45.3	21.5	40.0	178	6	29.7	14.1	24.0
要町	1,199	23	266	10	44.3	22.2	43.5	221	7	36.8	18.4	30.4
椎名町	1,600	30	430	13	71.7	26.9	43.3	283	10	47.2	17.7	33.3
富士見台	1,248	24	327	12	54.5	26.2	50.0	216	8	36.0	17.3	33.3
千早	1,372	26	362	12	60.3	26.4	46.2	252	9	42.0	18.4	34.6
高松	1,225	23	377	12	62.8	30.8	52.2	397	13	66.2	32.4	56.5
千川	877	18	137	6	22.8	15.6	33.3	73	6	12.2	8.3	33.3
大成	1,126	22	351	12	58.5	31.2	54.5	324	11	54.0	28.8	50.0
平和	734	16	137	6	22.8	18.7	37.5	90	6	15.0	12.3	37.5
計	33,931	663	8,344	297	48.0	24.6	44.8	6,932	252	39.8	20.4	38.0

中学校	昭和37年 (ピーク時)		平成 8 年					平成 13年推計				
	生徒	学級	生徒	学級	1学年 平均	指数(s37=100)		生徒	学級	1学年 平均	指数(s37=100)	
						生徒	学級				生徒	学級
駒込	914	19	326	10	108.7	35.7	52.6	319	9	106.3	34.9	47.4
大塚	1,317	26	365	11	121.7	27.7	42.3	276	8	92.0	21.0	30.8
西巣鴨	1,503	27	365	11	121.7	24.3	40.7	251	8	83.7	16.7	29.6
朝日	583	12	115	4	38.3	19.7	33.3	84	3	28.0	14.4	25.0
池袋	2,300	45	430	12	143.3	18.7	26.7	455	12	151.7	19.8	26.7
道和	1,492	30	356	10	118.7	23.9	33.3	281	8	93.7	18.8	26.7
高田	1,600	32	245	7	81.7	15.3	21.9	199	6	66.3	12.4	18.8
雑司谷	1,257	25	202	7	67.3	16.1	28.0	210	6	70.0	16.7	24.0
長崎	764	15	198	6	66.0	25.9	40.0	170	6	56.7	22.3	40.0
真和	1,165	23	280	9	93.3	24.0	39.1	200	6	66.7	17.2	26.1
千川	1,498	30	388	12	129.3	25.9	40.0	320	10	106.7	21.4	33.3
第十	1,281	26	261	8	87.0	20.4	30.8	190	6	63.3	14.8	23.1
千早	852	18	144	6	48.0	16.9	33.3	154	6	51.3	18.1	33.3
計	16,526	328	3,675	113	94.2	22.2	34.5	3,109	94	79.7	18.8	28.7

※各年5月1日学校基本調査による。平成13年は東京都教育庁推計。